

# アメリカ大使留学奨学金プログラム

## —高校生交換留学アメリカ派遣—

### 2023年派遣生 募集要項

#### 1. 趣旨

在沖縄米国領事館は、沖縄県の高校生のアメリカへの交換留学支援事業を行う。本事業では、参加費用のかからない形で、沖縄県内の高校生を1学年間アメリカに交換留学生として派遣することにより、広く海外に視野を向け、将来的にグローバルに活躍する人材となることを支援する。そしてそれを通じて、社会の発展に寄与することを目的とする。当該事業を理解し、留学を希望するものを次の通り募集する。

#### 2. 主催

在沖縄米国領事館（以下、「領事館」という）

#### 3. 事業実施

日本側 公益社団法人 日本国際生活体験協会（EIL Japan、以下、「EIL」という）  
米国側 PAX Laurasian Exchange（以下、「PAX」という）

#### 4. 応募資格

以下の条件を満たす者

- ① 2005年4月2日～2007年4月1日に生まれた、受験時に沖縄県内の高等学校に在籍する、高校1年生～高校2年生
- ② 留学先への渡航までの期間、沖縄県内の学校に在籍していること
- ③ 留学参加にあたり経済的支援が必要とされること
- ④ 心身共に健康であること
- ⑤ 中学校1年から現在までの学業成績において、学年末成績および最新学期（2021年度1学期または前期）成績で5段階評価中1および2を取得していないこと
- ⑥ 中学校1年から現在まで、1学年の欠席10日以内、遅刻・早退10回以内であること。ただし、入院や新型コロナウイルスに関連する出席控え等の特別な事情がある場合には考慮する。
- ⑦ 日本国籍のみを有していること

#### 条件⑦について

日本国籍の他に、他国の国籍を有する場合は出願できない。本人や保護者に認識がなくても以下に該当する場合、他国の国籍（市民権）を有している可能性がある。

- ・日本以外の国で出生した
- ・父母のうちどちらか、または両方が他国の国籍を有している

特に、①アメリカで出生している場合は必ず、②父母がアメリカの国籍を有している場合は、高い確率でアメリカの市民権を所持している。②に該当する場合は、本人がアメリカの市民権を有していないことが確認できない場合は出願できない。

内定後に日本以外の国籍を有していることが判明した場合は、派遣取消しとなる。

## 5. 派遣先

アメリカ

アメリカのどの地域に派遣されるかは PAX に決定権があり、希望を出すことはできない。

## 6. 留学の派遣期間・募集人数

派遣期間	留学開始時期	募集人数
1 学年間（約 9 か月）	2023 年 7～9 月	10 人

## 7. 選考の流れ

	時期	会場	内容
事前試験 申込	2022 年 9 月 30 日（金） ～10 月 18 日（火）15 時	—	オンラインフォームより申し込むこと
事前試験	2022 年 10 月 23 日（日）	那覇市内	英語応用力試験（ELTiS） ※会場までの交通費は自己負担
事前試験 結果通知	2022 年 10 月 24 日（月） 発送	—	郵送にて通知。事前試験結果に応じて出願の可否が定まる。 24 日中に受験番号によって EIL ホームページに通過者一覧を公開する。
出願	2022 年 10 月 27 日（火） ～11 月 4 日（金）必着	—	本要項「9. 提出書類」の内容を確認し、出願すること
第一次選考 結果通知	11 月中旬頃	—	郵送にて通知 ※提出書類と ELTiS の結果から総合的に判断する
第二次選考	11 月 27 日（日）	沖縄県内	面接（本人・保護者） ※会場までの交通費は自己負担
合格通知	12 月中旬頃	—	郵送にて通知

※ 一次および二次選考の詳しい日程・会場については別途書面で通知する。

※ 新型コロナウイルスへの感染、または濃厚接触者と認定された場合は、別日程での受験となる。

### 事前試験申込

希望者は以下のオンラインフォームから申し込みを行うものとする。

申込フォーム URL（右の QR コードからもアクセス可能）

<https://forms.gle/64xkiMcUgLmH2eT39>



### 出願書類の送付先

〒902-0067

沖縄県那覇市安里 1-1-53

公益社団法人 日本国際生活体験協会

アメリカ大使留学奨学金プログラム係

## 8. 内定者の決定

2022年12月中旬頃までに、提出書類及び選考試験の結果により決定する。参加申込書提出をもって奨学生に内定とする。

※決定にあたり、選考過程についてのいかなる問い合わせにも応じられない。

## 9. 提出書類

- ① 2023年派遣 アメリカ大使留学奨学金プログラム願書（様式Ⅰ）
- ② 志望理由書（様式Ⅱ）
- ③ 学校の先生からの評価表（様式Ⅲ） ※厳封のまま提出すること
- ④ 健康状態申告書（様式Ⅳ）
- ⑤ 中学1年から3年までの学年末の成績および出欠状況のわかる通知表のコピーまたは成績証明書
- ⑥ 在籍学年の最新学期まで全ての高等学校成績および出欠状況のわかる通知表のコピーまたは成績証明書
- ⑦ 所得証明書（2021年分・全項目記載）  
収入の有無に関わらず、父母両方（父母ともにいない場合には父母に代わって家計を支えている者）について提出すること。  
「所得証明書（全項目記載）」とは、収入・所得の金額、市県民税の課税額、扶養等の控除額が記載されている、在住市町村発行の個人別の書類である。世帯まとめでの発行書類や、課税証明書ではないので注意すること。
- ⑧ 課題作文 – 以下 a～c のテーマを含めて日本語で 1600 字以内  
※手書きの場合は 400 字詰め原稿用紙を使用し、ボールペンを使用して書くこと。（修正ペン使用可）  
※パソコンを使用する場合は、原稿用紙レイアウトを使用して作成すること  
※原稿用紙の余白（全ページ）に受験番号を記載すること  
テーマ
  - a. アメリカへの交換留学を志望する理由
  - b. 将来どのような進路選択を希望しているか
  - c. 留学経験はその進路にどのように活かされるのか

※各種様式は EIL ホームページ ([www.eiljapan.org](http://www.eiljapan.org)) からダウンロードすること

※事前試験結果通知から書類提出までの期間が限られているため、前もって提出書類の準備を行うことを強く推奨する

## 10. その他費用

留学に係る費用としてプログラム参加費以外に以下の費用が自己負担となる。①～⑤合計の目安として最低でも 20 万円程度の費用負担がある。

- ① 旅券（パスポート）・ビザ申請関連費用  
ビザ申請費用は助成されるが、申請にあたり本人の領事館への出頭を求められる。その交通費は自己負担となる。
- ② 英文健康診断書作成、予防接種費用

各種予防接種の接種が求められる場合がある。輸入ワクチンでは、費用が1本あたり1～2万円前後する場合がある。なお、派遣州やホストスクールから新型コロナウイルスワクチンの接種が求められる場合がある。

- ③ オリエンテーション参加に伴う会場（沖縄県内予定）までの交通費
- ④ 授業料は免除されるが、実験・実習費、教科書代、通学交通費等、一定額の学校経費の負担を求められる場合がある。
- ⑤ 個人的経費（お小遣い等）

### 1 1. 義務

奨学生には、留学中および帰国後のレポートおよび写真の提出義務が発生する。また、帰国報告会への出席が義務付けられる。提出されたレポートおよび写真は在沖縄米国領事館に報告され、活動の様子などは在沖縄米国領事館・EIL・PAX ホームページ・SNS等に掲載される。その際、本名および学校名が記載される。

### 1 2. 説明会

本奨学金事業のオンライン説明会を実施する。出願にあたり、説明会への参加は必須ではないが、プログラムの理解促進のため、参加を勧める。

2022年10月12日（水）19:30～20:30

説明会はテレビ会議システム ZOOM を利用して行う。参加には事前申し込みが必要となる。以下 URL または右の QR コードから申込をすること。

申込 URL : <https://eiljapan.org/seminar/mail.cgi>



### 1 3. 問合せ先

公益社団法人 日本国際生活体験協会（EIL）  
沖縄事務所  
電話：098-880-2197（平日 10 時～16 時）  
メール：[ayp2023@eiljapan.org](mailto:ayp2023@eiljapan.org)

### 1 4. その他

応募書類は（公社）日本国際生活体験協会（EIL）に所属し、返却しない。

公益社団法人 日本国際生活体験協会（EIL）  
アメリカ大使留学奨学金プログラム事務局